

ネイチャーセンター ガイド (121)

「僕のエネルギー！ 活力！ 原動力！」
前号からの続き・・・

「ありがとう！仲間というものを教えてくれて」
渋谷区立代々木小学校6年 川名 史織
わき水取りの苦労が役立ったのかもしれない。わき水と佐々木先生のサプライズのかつお節とで作った「バーモント6」。私たちの班のカラーは、3班の中で一番、一番おしかった。

2日目のイベントのハイキング。険しい道の中、みんなで「大丈夫？」と手を取り合いながら乗り越えた末、わき水とはまた違う、甘い水を飲むことができた。汗を流した後の冷たい水。とても暑い夏にはびったりだった。

その後、冷たい川に入った後、都留で一番楽しみにしていたキャンプファイヤーをした。最初から盛り上がっていたせいか、声がおかしくなった。たくさんのゲームをしながら、火の鳥の燃え上がりは、楽しそうで、その反面淋しさを映していたように思える。キャンプファイヤーで行ったゲームは、ほとんど「仲間」というものを考えさせられた。楽しくて、楽しくて、筋

肉痛になったぐらい楽しい時間が過ぎているのを火の鳥は、いつまでも、いつまでも私たちを見続けていた。

帰る時、悲しさでどっと涙があふれ出た。悲しくて、都留のみんなが、いとおしくて・・・。「黄色いハンカチ持って待っているよ」と都留のみんなは、ずっと私たちに手を振り続けた。いつまでも、いつまでも・・・

この体験を通して、私は「仲間」の大切さが大事だと改めて思った。わき水を取る時や、ハイキングの時、それにキャンプファイヤー、すべての仲間と言葉を交わしたりしなければ、全部乗り越えられなかったと思う。あと、都留での3日間は、とても短い時間の中でいろいろなことを成しとげるため、1秒1秒という「今」を精一杯生き、今ある現実を受け止め、生活することができた。そのような体験を、これからの生活に生かしていこうと思う。

都留は過去ではなく「思い出」なのだ。だから今でもあの時は心の中に残っている。

終

連絡・問合せ ☎(45)6222

宝の山ふれあいの里ネイチャーセンター
開館時間：午前9時から午後4時まで
休館日：月曜日、祝日の翌日

3月15日(土)まで

ニホンジカ・イノシシの

狩猟期間を延長します！

増えすぎたニホンジカとイノシシを減らし、農林業や森林への被害を無くすため、県では、ニホンジカとイノシシに限り、2月15日(金)までの狩猟期間を1カ月間延長し、3月15日(土)までとします。

期間中に、農林作業に従事する方や山野散策をする方、溪流釣りをする方などは、十分注意するようにお願いします。

対象区域 山梨県全域

今年度において県内の休猟区では、ニホンジカとイノシシの狩猟が特例的に可能となっています。なお、鳥獣保護区については狩猟ができないことは従来どおりですのでご注意ください。

狩猟事故防止のために

地域の皆様や入山者の皆様は、狩猟事故に遭わないように、狩猟期間中入山される際には十分注意していただく必要があります。次のことにぜひご協力ください。

▼入山する際は、オレンジ色の帽子をかぶるなど、できるだけ目立つ服装を心がけてください。(見えにくい服装は控える、白いタオルを腰にぶら下げることは、シカと誤認されるおそれがあるため控えるなど)

▼複数人で話をしながら入山する。また、単独の場合も、音の鳴るもの(鈴、ラジオなど)を携帯してください。

※鈴、ラジオはクマとの遭遇防止にも役立ちます。

▼土・日曜日などはハンターが集中するので特に注意してください。

▼わなは危険なので、設置の標識がある場合は近づかないでください。

問合せ 県森林環境部 みどり自然課 自然保護担当

☎055(223)1318